

わたしの好きな よりの

No.211

包み込まれるように広がる星空が魅力のプラネタリウム館です。プラネタリウム投影は、寄居町総合社会福祉センターかわせみ荘内にある児童館の事業として、第4日曜日の午後2時から2階のプラネタリウム館で行われます。星座にまつわるお話や、静画を用いた物語など、毎回異なるプログラムを組んで来館者をもてなします。

秋と冬の星空の違いの主なものとしては、冬の方が空気が乾燥しているため一つひとつの星がより鮮明に見えることと、一等星の数です。秋の星空も透き通っていてとても美しいのですが、明るさの等級が高い星は、冬場に多く見ることができます。

プラネタリウムに興味のある方は、本誌の子育てサロンに掲載している児童館事業をご覧ください。

皆さんも、暗闇に輝く数多の星に癒されてみませんか。



プラネタリウム館



▲投影イメージ



親子 De 笑顔

子育て支援施設を利用された皆さんを中心に紹介しています。



杉山朋美さん・巧くん(0歳4カ月)(本村)



花輪瑠里子さん・瑞菜ちゃん(0歳6カ月)(関山)

☺子育てのポリシー

兄弟仲良く刺激を受けて育ってほしいと思っています。自然にたくさん触れ、よく食べ、よく寝て、よく遊び、丈夫な体づくりを心掛けています。

☺お子さんが夢中になっていること

声が出るようになってきたので、その声に合わせてしゃべるとよくニコニコしています。姉や兄の動きをジーっと見ていることが多くなりました。

☺子育てのポリシー

優しく、思いやりのある子に育ってほしいです。子どもとの時間を大切に、いろいろなものを見たり、聞いたり、触れたり、やりたいと思ったことは応援してあげたいと思います。

☺お子さんが夢中になっていること

お兄ちゃんが保育園で覚えてきた歌などを歌っている姿を目で追って一緒に声を出しています。また、最近はいないないばあ」をすると手足をバタバタさせて喜びます。